

新技術概要説明資料 (1 / 5)

名称	ライン導水ブロック-F型		登録No.				
			收受受付年月日				
			変更受付年月日				
副題	小型水路内蔵型歩車道境界ブロック		開発年	平成13年4月1日			
区分	1.工法 2.機械 3.材料 4.製品 5.その他			番号: 4			
分類	1-3-2.道路 / 付属施設						
キーワード	1.安全・安心		5.公共工事の品質確保・向上		1		
	2.環境		6.景観		5		
	3.情報化		7.伝統・歴史・文化		6		
	4.コスト縮減・生産性の向上		8.リサイクル		番号:		
国土交通省への登録状況	申請地方整備局名	登録年月日	登録番号	評価結果			
	近畿地方整備局	平成14年4月3日	KK-020004				
開発目標 (選択)	1.省人化		5.耐久性向上		9.地球環境への影響抑制		2
	2.省力化		6.安全性向上		10.省資源・省エネルギー		6
	3.経済性向上		7.作業環境の向上		11.品質の向上		11
	4.施工精度向上		8.周辺環境への影響抑制		12.リサイクル性向上		番号:
活用の効果	従来技術名:	歩車道境界ブロック+現場打ちL型側溝					
	1.経済性	1.向上(%)	2.同程度	3.低下(%)	番号:	2	
	2.工程	1.短縮(%)	2.同程度	3.増加(%)	番号:	1 93	
	3.品質・出来型	1.向上	2.同程度	3.低下	番号:	2	
	4.安全性	1.向上	2.同程度	4.低下	番号:	1	
	5.施工性	1.向上	2.同程度	5.低下	番号:	1	
	6.環境	1.向上	2.同程度	6.低下	番号:	1	
	7.その他	1. (定義済みの値なし)				番号:	
開発体制	1.単独 2(1)共同研究(民民) 2(2)共同研究(民官) 2(3)共同研究(民学)			番号:	1		
開発会社	株式会社イトーヨーギョー						
問合せ先	技術	会社名: 株式会社イトーヨーギョー	住所: 〒531-0071 大阪市北区中津6-3-14				
	営業	担当部署: 技術開発部	TEL: 06-4799-8853				
		担当者名: 高岡 薫生	FAX: 06-4799-8854				
(概要)	目的	従来のL型側溝のもつ路面排水の排除機能と縁石の双方の機能を有する歩車道境界ブロックであり、車道表面を流れる雨水及び舗装内の浸透雨水を効率的に集水・排水する。					
	活用の効果	道路の路面排水が直ちにライン導水ブロック-F型のスリット孔に集水されるので車両走行による水はねの影響が低減し、歩行者は歩きやすい。特に、横断歩道部や歩道巻込部を歩く人にとって水たまりがなくなり、安全性が向上する。エプロンが不要となる為、路片の勾配が道路の横断勾配と同一にでき、二輪車等の安全性が改善される。排水性舗装の端末処理を解決すると共に、歩道の排水処理も容易 特に適用効果がある個所 (a)歩道切下げ部 (b)道路縦断勾配がゆるく、路側に水がたまりやすい個所 (c)バス停留所 (d)2輪車通行が比較的多い個所 (e)排水性舗装道路					

新技術概要説明資料 (2 / 5)

新技術名称	ライン導水ブロック-F型	登録No.	0
-------	--------------	-------	---

(特 徴)

街きよ部(エプロン)の施工が不要であり、路肩の安全性が向上すると共に、車道有効幅員が拡大する。呑口(スリット孔)が線状に存在するので、路側沿いに水はたまりにくい。集水された雨水が直ちに路面上から排除されるので、路側で車両走行時の水はねが生じない。水たまりが無くなり、歩行者の歩行性は改善する。特に歩行者の止まる横断歩道部の巻込部雨水排除には効果があり、歩行者の安全で快適な歩行性が確保される。道路横断勾配が同一となるので二輪車の走行性は改善される。特に歩道巻込部を対象とした路面排水機能を有した歩車道境界ブロックはこれまでなかった。ライン導水ブロック-F型(排水性舗装用)では舗装に浸透した雨水を以下の多面的な集水・排水機能で舗装体内から排除する。
 (a)横断方向からの雨水をポーラスコンクリートで内部水路に集水する。
 (b)縦断方向に設けた導水溝に沿いブロック接合部に設けている集水孔(スリット)で舗装体から直接、内部水路に雨水を取り込む。
 路面を流れる雨水の取り込みも可能となるよう路面集水孔も備えているので、表面水の排水効果がある。ポーラスコンクリート製品では、歩道に降った雨水の集排水も容易に可能である。

(施工方法)

標準施工手順
 基礎となる地盤を十分締め固めます。
 基礎材はコンクリート打設を前提とします。但し、地盤の状況により基礎砕石等のみの施工も可能です。
 敷モルタルをレベルに敷き均します。
 ブロック端面にジョイントピン(水路位置決め用)をセットし、止水パッキン(ゴム製)を確認し、ピンの凹凸にしたがって据え付けます。
 尚、ブロックの一端の排水面廻りに切り込みを設けており、止水パッキンの装着を容易にし、ジョイント部の止水性を高めています。
 ブロックの据え付け後、埋め戻しを行い、十分な転圧を行います。

(施工単価等)

1(1).歩掛りあり(標準)	1(2).歩掛りあり(暫定)	2.歩掛りなし	1(2)
----------------	----------------	---------	------

据付歩掛(100m当り)		
項目	数量	単位
土木一般世話役	1.1	人
特殊作業員	1.1	人
普通作業員	3.3	人
ライン導水ブロック	100	本
トラッククレーン賃料	1.1	日
諸雑費	1	式(労務費+機械賃料の3%)

歩掛はプレキャストL型(2m)を基準とし、長さ補正を行なう。
 長さ補正・・・建設物価臨時増刊号「土木コスト情報」、U型側溝2mから1mへの補正は1.1を乗ずるを採用。

(適用条件)

通常の歩車道境界ブロックに対応する製品である。
 適用範囲(平成14年3月現在)
 JIS型片面歩車道境界ブロック(B種)対応製品
 車両乗り入れ部歩車道境界ブロック対応製品
 横断歩道部歩車道境界ブロック対応製品
 歩道端部巻き込み部歩車道境界ブロック対応製品
 排水性舗装用歩車道境界ブロック対応製品(ライン導水ブロック-F型(排水性舗装用))

新技術概要説明資料 (3 / 5)

新技術名称	ライン導水ブロック-F型	登録No.	0
(施工上・使用上の留意点)			
目地開きを生じさせないように歩道計画上の曲線半径に沿った曲線製品を用いる。 開口部及びポーラスコンクリート部は、砂、砂利等がかからない様、車道及び歩道工事完了まで養生シート又は養生テープで覆う。 付属のセットピンにより、確実に位置合せと連結を行う。			
(残された課題と今後の開発計画)			
全国各地での製造拠点の整備			
(実験等作業状況)			
・水理試験によりスリットからの集水量を計測し、計算値と一致することを確認した。 ・施工後1年経過時点で、ドレンパイプとの現場透水量比較試験を実施し、ドレンパイプと比較して、排水性舗装の機能を維持する効果が高い事を確認した。			
(添付資料)			
実験資料等			
製品強度試験結果報告書			
積算資料等			
ライン導水ブロック価格表			
施工管理基準資料等			
本体の出来形については、土木工事施工管理基準（静岡県土木部）による。			
その他			
特 許	1.有り(番号:) 2.出願中 3.出願予定 4:無し	番号	2
実用新案	1.有り(番号:) 2.出願中 3.出願予定 4:無し	特許番号	特開2002-8870
		番号	4
評価・証明	建設技術評価制度番号	民間開発建設技術の審査証明番号	
	証明年月日	証明年月日	
	制度等の名称	証明機関	
	制度等の名称	制度等の名称	
	制度等の名称	制度等の名称	
その他の制度等による証明	制度名、番号	制度名、番号	
	NETIS		
	証明年月日	証明年月日	
	2002/4/3		
	証明機関	証明機関	
国土交通省近畿地方整備局			
証明範囲	証明範囲		

新技術概要説明資料(4/5)

新技術名称		ライン導水ブロック-F型		登録No.	0
実績件数		公共機関:	320	民間:	0
発注者	施工時期	工事名		CORINS登録No.	
国土交通省 宇都宮国道事務所	2002/3～ 2003/3 2002/3～ 2003/2	宮の内情報ボックス設置工事 雀宮情報ボックス設置工事		1008-9039Z 1080-5351W	
高崎河川国道事務所	2002/3～ 2003/3 2002/3～ 2003/3	安中(2)舗装工事 新町情報ボックス設置工事		1080-5976U 1081-4690W	
新潟国道事務所	2002/3～ 2003/3	白根電線共同溝その5工事		1081-2176Q	
大阪国道事務所	2002/3～ 2002/11 2002/1～ 2002/11	26号阪南市～岬町歩道整備工事 26号岸和田市～貝塚歩道整備工事		1079-4969Y 1078-8444W	
鳥取河川国道事務所	2002/4～ 2003/3	29号・53号鳥取維持工事		1081-7903X	
別紙添付					

施工実績

新技術概要説明資料 (5 / 5)

新技術名称	ライン導水ブロック-F型	登録No.	0
-------	--------------	-------	---

